

【様式】

平成31年度 学校マネジメントシート

学校名 (杉の子特別支援学校 石薬師分校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校をめざす。
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と社会参加をめざし、主体的に取り組む子ども ・自己肯定感や他者を思いやる気持ちを持ち、自他の命を大切にし、人権感覚あふれる子ども
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に情熱をもって取り組み、子どものニーズや障がいの特性に応じた教育活動や地域支援を推進する教員 ・対話・会話を大切にし、同僚と協働でき、組織力の向上をめざす教員 ・防災対策や防災教育、人権感覚あふれる学校づくり等、子どもたちが安心・安全に過ごせる学校づくりを推進していく教員 ・保護者・地域・関係機関と連携し、就学前から卒業後までの一貫した指導・支援を推進していく教員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈児童・生徒〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立と社会参加に向けて、様々な体験的な学習を経験して、卒業後の生活に必要な力や主体性を育てほしい。 ・一人ひとりが活かされる仲間づくりを推進してほしい。 <p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりのニーズに応じた自立と社会参加に向けた教育と進路実現を推進してほしい。 ・安心・安全な学習環境を維持継続してほしい。 <p>〈地域の学校・関係機関〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における特別支援教育の充実・推進に向け、センター的機能を発揮してほしい。 	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒一人ひとりのニーズに応じた安心・安全な教育 <p>〈地域の学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流を通しての共生共学に対する理解と推進 ・地域の特別支援教育のセンター的機能 <p>〈地域の関係機関（企業・福祉施設等）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供や障がい者理解に向けた支援 <p>〈地域社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育活動の公開と情報提供 	<p>〈保護者〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目指す学校づくりへの理解と協力 <p>〈地域の学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流を通しての様々な活動や体験 <p>〈地域の関係機関（企業・福祉施設等）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現場実習の受け入れ及び就労実現 ・職業授業への情報やノウハウの提供 ・放課後等の利用、卒業後の入所 ・就労や施設利用に関する情報の提供 <p>〈地域社会〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会活動への参加や進路先の確保、卒業後の支援 ・本校の教育活動の理解と協力
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育プログラムを活用した教育実践や授業改善を進めるとともに、新学習指導要領に対応した教育内容の実践や教育課程の編成が必要である。 ・地域に開かれた学校としての取り組みを進めるために、地域への情報発信やマスコミ等を活用した広報についても検討し、また保護者等へのニーズに応じた適切な情報発信の内容や量について検討を進める必要がある。 ・働きやすい職場づくりを進めるために、さらに業務の改善や効率化を進め、職員の負担軽減を図ることが求められる。 	

(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と社会参加を目指した一貫性のあるキャリア教育の推進、新学習指導要領に対応した教育実践を確立する必要がある。 ・命を大切にする教育、人権教育の推進を図る必要がある。 ・自立と社会参加を目指す教育の充実に向け、多様な体験的な学習機会を設定し、系統的・計画的・組織的な取り組みを推進する必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育におけるセンター的機能の充実を図る必要がある。 ・組織的な実践力・対応力の構築、専門性の向上を推進する必要がある。 ・より实际的で多様な場面設定がなされた防災訓練、危機管理訓練等を実施し、教職員の対応力向上を推進する必要がある。 ・本校・分校、関係機関（鈴鹿病院、石高等）、保護者との連携や情報共有の推進、地域とのつながりを強化し、開かれた学校への展開を推進する必要がある ・信頼される学校、教職員が働きやすい職場であるための取組を推進していく必要がある。 ・業務内容、校内組織の見直しを推進し、総勤務時間の縮減に向けた取組を推進していく必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自立と社会参加を目指した一貫性のあるキャリア教育の推進、新学習指導要領に対応した教育実践を確立する。 ・命を大切にする教育、人権教育を推進する。 ・自立と社会参加を目指す教育の充実に向け、多様な体験的な学習機会を設定し、系統的・計画的・組織的に取り組む。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育におけるセンター的機能の充実を図る。 ・組織的な実践力・対応力の構築、専門性の向上を推進する。 ・より实际的で多様な場面設定がなされた防災訓練、危機管理訓練等を実施し、教職員の対応力向上を推進する。 ・本校・分校、関係機関（鈴鹿病院、石高等）、保護者との連携や情報共有の推進、地域とのつながりを強化し、開かれた学校への展開を推進する。 ・信頼される学校、働きやすい職場であるための取組を推進する。 ・業務内容、校内組織の見直しを推進し、総勤務時間の縮減に向けた取組を推進する。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
○キャリア教育の推進と新学習指導要領への対応	<p>(1) キャリア教育プログラムを保護者に周知するとともに、個別の教育支援計画や指導計画の目標に反映させ、具体的な支援に活用する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象キャリア教育プログラム活用についての説明会：年間1回 ・職員対象キャリア教育プログラム活用研修：年間1回 <p>(2) 新学習指導要領の内容について職員研修を行い、新教育課程の編成に向け検討していく。</p> <p>【活動指標】</p>	(年度末および適宜記載)	

	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領についての職員研修:年間1回 ・教育課程検討委員会:年間3回以上 		
○「命を大切に する教育」 「人権教育」 「道徳教育」 の推進	<p>(1)様々な場面を通して仲間作りを推進し、外部講師の講義を含め生徒の実態に合わせた指導を行い、実践記録を残していく。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年・学級での取り組み:各学期1回以上 		
○自立と社 会参加を目 指した系統 的・計画的・ 組織的な取 り組み	<p>(1)「進路見学会」や「進路説明会」等を通じて情報共有し見通しを持ってもらうことで、保護者との連携を密にしていく。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象進路説明会:年3回 ・保護者対象進路見学会:年2回 ・就労アセスメント説明会:年1回 ・卒業生のお話を聞く会:年1回 <p>(2)系統的に各種実習を実施し、生徒の実態や特性に合った実習先を選択するとともに、実習後の様子についても担任や学年団と情報共有し、適切な進路指導を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内実習:年間2期間 ・現場実習:年間3期間 ・3年生対象進路個別懇談会:1学期1回 		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
○センター的 機能の充実	<p>(1)地域の小・中学校や関係機関職員対象の研修講座や体験研修を実施する。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各研修講座を年間2回以上実施する。 <p>(2)地域の全中学校を訪問し、担当教員との連携をはかるとともに、必要に応じて支援のアドバイスを行う。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴鹿市、亀山市の全中学校への訪問支援:各校年1回以上 	(年度末および適宜記載)	
○組織的な実 践力、対応力 につながる専 門性の向上	<p>(1)教職員の資質向上に向けた自立活動や生徒指導に関する研修会を行う。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の指導力向上に向けた研修会:年2回以上 		

○危機管理体制の強化	(1)危機管理に関する各マニュアルの見直しを行うとともに、「生徒下校時所在確認一覧表」を作成し、それをもとに対処訓練を行う。 【活動指標】 ・下校時災害対応訓練:年1回		
○保護者や地域との連携	(1)保護者や地域への情報発信を積極的に行うとともに、PTAとの一層の連携強化をはかる。 【活動指標】 ・運動会や文化祭での学習成果の発表:年2回 ・学校ホームページによる発信:月1回更新 ・PTA新聞の発行 ・特別な教育活動の報道提供		
○働きやすい職場作り	(1)校内組織の改編を実施し、より適切で無駄なく効果的に運営できる組織になるべく検証し、必要な調整を行う。 【活動指標】 ・職員アンケートによる満足度:80%(ポイント+5)以上 (2)学年を超え、互いに理解し合い、協力できる体制を作る。 【活動指標】 ・職員アンケートによる満足度:80%以上 (3)会議の効率化と定時退校日の確実な実施を行い、職員の負担感の軽減をはかる。 【活動指標】 ・会議の55分以内終了:80%以上 ・毎月の定時退校日実施率:90%以上		
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)

